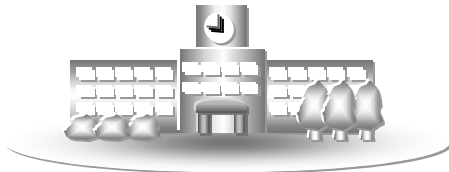


## 再編整備に係るシミュレーション

平成14年度決算額を基に、全日制のみ設置するA校（1学年3学級）とB校（1学年4学級）を統合し、新たに1学年7学級規模のC高校とした場合のシミュレーションである。

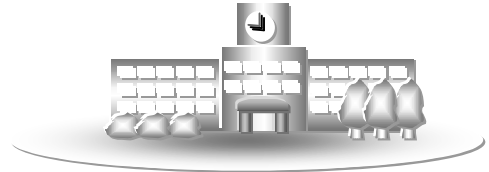
A高校  
学級規模: 3学級 (総学級数9～11学級)



校長	1人
教頭	1人
教員	29.3人
行政職員	6.8人
学校運営費用	49.7百万円
経常コスト	381.0百万円
クラブ数	23

(平均所属人数10.3人)

B高校  
学級規模: 4学級 (総学級数12～14学級)



校長	1人
教頭	1人
教員	35.5人
行政職員	7.6人
学校運営費用	49.3百万円
経常コスト	440.2百万円
クラブ数	29

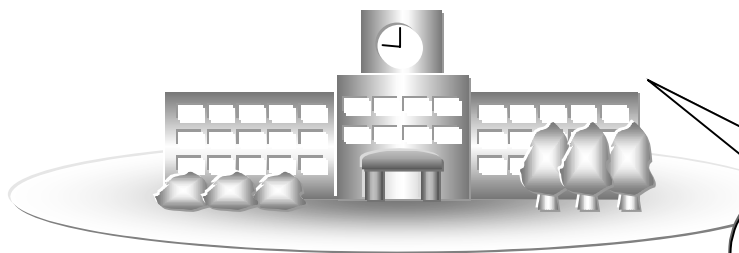
(平均所属人数18.7人)

(合計) 校長	2人
教頭	2人
教員	65人
行政職員	14人
学校運営費用	99.0百万円
経常コスト	821.2百万円

統 合

約2億3,270万円の差額

C高校  
学級規模: 1学年7学級相当



校長	1人
教頭	1人
教員	53.3人
行政職員	7.3人
学校運営費用	59.0百万円
経常コスト	588.5百万円
クラブ数	38

(平均所属人数22.1人)

### 【スケール・メリット】

多様な科目の開設が可能

クラブの種類が増え、クラブ員も一定の人数を集めることができる。

学校行事や生徒会活動など、一定の生徒数が必要な教育活動が効果的になる。

教員数は、教諭、実習助手、養護教諭、常勤講師の合計人数を示す。  
経常コストとは、1年間にかかる教職員の給与と、学校運営費用の合計です。